

当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

## 免疫応答と感染

免疫応答には液性免疫と細胞性免疫があります。

今回は細胞性免疫に関する免疫担当細胞を評価に用いた試験をご紹介します。

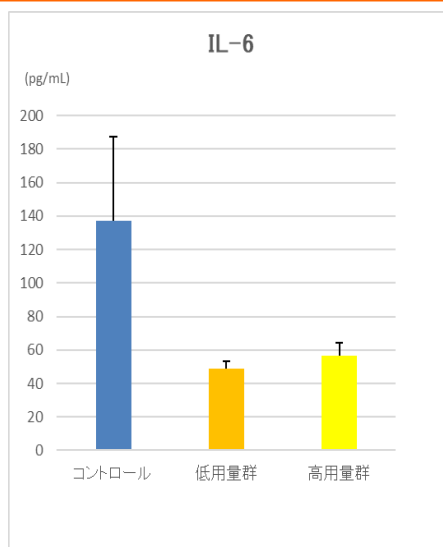
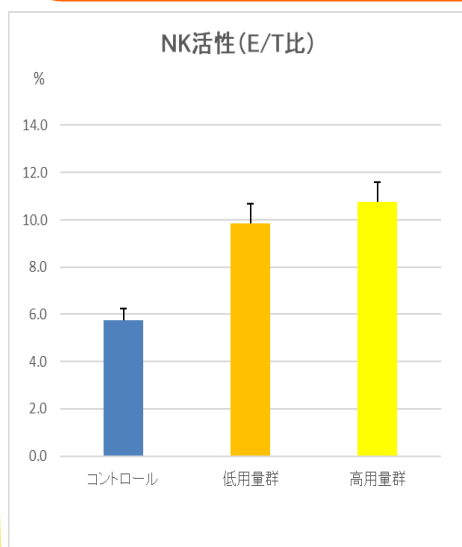
### マウスを用いたインフルエンザ感染防御試験

動物種 : マウス (SPF)

系統 : BALB/c

ウイルス株 : インフルエンザウイルス ( A/PR/8/34 (H1N1) )

試験方法 : 被験物質を一定期間摂取後、インフルエンザウイルスを感染させ、感染後5日に血中サイトカイン (IL-6) 及びNK活性を測定する。



### 【 結果 】

被験物質は、NK活性を上昇させ、炎症性サイトカイン(IL-6)も減少させた。

被験物質のインフルエンザに対する感染防御機構には、NK活性が関与している。

### オンラインセミナーを配信しました

9月9日(木) 15:00~16:00

「新規医療機器開発を目的とした非臨床試験のご紹介」

—医療機器性能試験を中心に—

講演者：株式会社日本バイオリサーチセンター 営業企画部 狩野 真由美

医療機器は医薬品の開発とは異なり、医師の指導の元に開発メーカーが試作の改良を重ねて製品を開発していきます。これらの性能及び安全性を確認するために様々な試験を実施しています。多くの医療機器メーカーは自社あるいは大学と共同して基礎実験を実施していますが、申請に必要なデータ作成等については弊社の様な非臨床試験受託施設(CRO)に依頼しています。

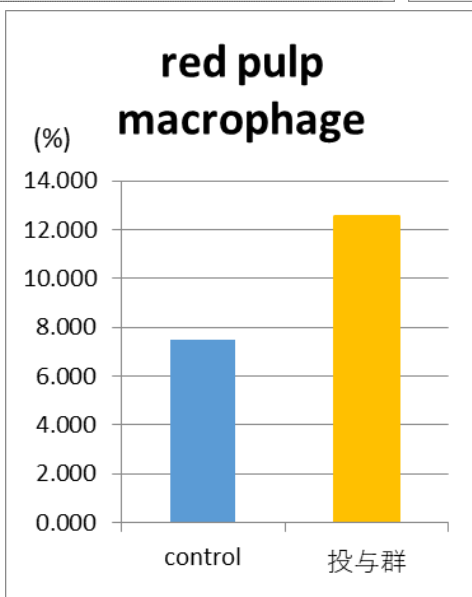
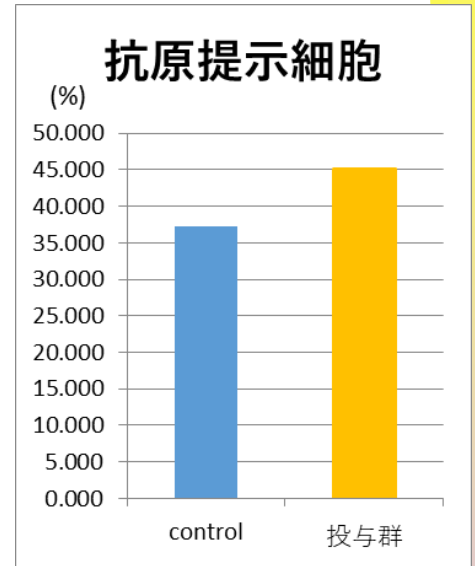
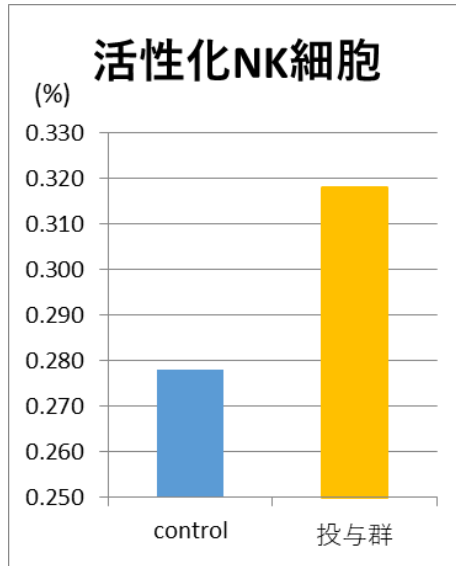
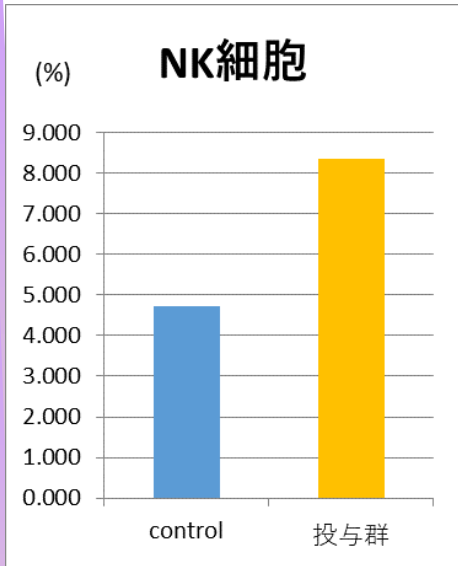
本セミナーでは、開発のフェーズやカテゴリ毎に必要な動物試験を実施するにあたり、動物種や試験系の選択について、過去に受託した実例を基にご紹介します。また、合わせて再生医療等製品で受託可能な評価系についてもご紹介しました。

# 被験物質摂取によるサイトカイン産生、免疫担当細胞の影響

動物種：マウス（SPF）

系統：BALB/c

試験方法：被験物質を一定期間摂取させて、血中サイトカイン及び脾臓中の各種免疫担当細胞（単球系細胞、好中球、マクロファージ、NK細胞、抗原提示細胞）をフローサイトメトリー法により解析する。



## 備考

NK細胞は、全細胞に対するNK細胞の割合とそのうち活性化NK細胞の割合の二つとなります。抗原提示細胞は、成熟マクロファージや樹状細胞、活性化した単球系細胞などとなります。red pulp macrophageは、微生物業原体の取り込みや免疫寛容の誘導といった機能があります。

## 【 結果 】

抗原提示細胞、red pulp macrophage 及びNK細胞の免疫担当細胞の割合が増加した。

## オリエンタル酵母工業グループの研究支援サービス

オリエンタル酵母工業は*in vitro*から*in vivo*まで、幅広い研究支援サービスを提供しております。研究課程のあらゆるシーンでサポート致します。

### ■ *in vitro*サービス

- ・遺伝子解析
- ・微生物培養
- ・細胞培養
- ・抗体開発/生産
- ・組換えタンパク質開発/生産
- ・ADME/Tox試験
- ・研究用試薬 (サイトカイン/抗体/酵母エキス他)
- ・生体試料

### ■ *in vivo*サービス

- ・実験動物用飼料、特別注文飼料
- ・実験動物(ウサギ/ビーグル/ミニブタ)
- ・遺伝子改変動物作出
- ・SPF/無菌化
- ・動物検査 (生化学/ホルモン/ステロイド他)
- ・受託飼育
- ・レンタルラボ
- ・薬効薬理/安全性試験

NBRはオリエンタル酵母工業グループです。

営業窓口はオリエンタル酵母工業㈱・㈱オリエンタルバイオサービス・㈱ケーピーティーオリエンタルとなります。

